

指導事例の作成について（ご案内）

法定研修のカリキュラムは昨年度より新しくなり、「実践の振り返り」を行う各科目も、適切なケアマネジメント手法に基づいた内容となっています。

これに伴い、主任更新研修においても、以下のような科目での指導事例の作成・提出が必要となります：

- ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
- ・認知症のある方及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
- ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
- ・心疾患にある方のケアマネジメント
- ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

しかしながら、昨年度は「認知症」や「家族支援」など、取り組みやすく感じられる科目に提出が集中し、事例の偏りが見られました。

■ 指導事例作成の視点について

現場で主任介護支援専門員（スーパーバイザー）が相談を受ける際、困りごとは「認知症への対応」や「家族支援」として表れることが多くあります。

しかし、よく見ていくとその背景には心疾患や脳血管疾患、大腿骨頸部骨折などの基礎疾患があり、それが認知症の悪化や家族の負担につながっているケースが少なくありません。

そのため事例を作成する際には、「表に見える困りごと」だけでなく、その背景にある疾患やリスク（予防的視点や再発リスク含む）にも着目して事例の主軸を設定していただくようお願いいたします。

1. 科目ごとの着眼点の例

科目	着眼点の例
脳血管疾患のある方のケアマネジメント	・片麻痺による生活動作の制限 ・言語障害による意思疎通困難 ・再発リスク管理
認知症のある方及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	・記憶障害やBPSDへの対応 ・意思決定支援の工夫 ・家族の理解と関係性
大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	・転倒歴や歩行の不安定さ ・住宅環境や福祉用具の活用 ・介護負担の増大

心疾患にある方のケアマネジメント	・バイタル管理や服薬の継続 ・循環器系疾患と生活習慣の関係 ・再発予防や受診支援
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	・食事形態の工夫 ・口腔ケア支援 ・家族や本人の理解度への支援
看取り等における看護サービスの活用に関する事例	・本人・家族の意向確認 ・緩和ケアの導入 ・多職種連携の重要性
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	・介護負担の軽減 ・制度利用の支援 ・心理的な支えや家族との関係性の調整 ・社会資源の活用・関係機関との連携

2. 科目をどう選ぶ？～視点の切り替え例～

例：認知症の進行により家族が疲弊して相談があった

✔ 視点を「認知症」や「家族支援」に置きがちだが、

👁️ 実際には心疾患による状態悪化や通院困難が背景にある場合 → 「心疾患」が主軸

例：転倒を繰り返し、生活の質が低下したり、家族の負担が増えていると相談

✔ 視点を「家族支援」に置きがちだが、

👁️ 実際には転倒による大腿骨頸部骨折のリスクが高いことが懸念されている背景にある場合 → 「大腿骨頸部骨折」が主軸

例：認知症の進行により、本人の自覚や理解が得られないため転倒を繰り返していると相談があった

✔ 視点を「認知症」に置きがちだが、

👁️ 実際には大腿骨頸部骨折のリスクが高いことが大きな懸念だったり、再発予防の視点が必要である場合 → 「大腿骨頸部骨折」が主軸

例：誤嚥のリスクが高く家族が疲弊して相談があった

✔ 視点を困っている「家族支援」に置きがちだが、

👁️ 実際には誤嚥性肺炎のリスクが高いため予防的支援が必要だったまたはするべきだった場合 → 「誤嚥性肺炎の予防」が主軸

■ 今年度の提出方法について

事例の偏りを防ぐため、今年度は以下の手順で事例提出を進めます：

① 作成可能な科目の事前申告（3 科目）

以下のいずれかのパターンで、作成可能な指導事例の科目を申込確認書提出時に 3 科目ご申告ください。

- ・ A 群から 1 つ + B 群から 2 つ
- ・ または、B 群から 3 つ

A 群（提出が集中しやすい科目）

- ・ 認知症
- ・ 家族支援・社会資源

B 群（多様な視点が求められる科目）

- ・ 脳血管疾患
- ・ 大腿骨頸部骨折
- ・ 心疾患
- ・ 誤嚥性肺炎予防
- ・ 看取り

② 事務局より、提出科目の指定

ご申告いただいた 3 科目の中から、事務局が 1 科目を指定し、お知らせいたします。

③ 指定された 1 事例を作成・提出

指定された科目で、指導事例（1 事例）を作成し、期日までにご提出ください。

指導事例は、研修での演習を充実させるための重要な材料です。円滑な進行と学びの質を高めるためにも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以下提出様式の見本となります。

参考にしてください。

鹿児島県介護支援専門員協議会
令和7年度主任介護支援専門員更新研修
【主任更新】提出事例（事例表紙）

所 属 機 関	
氏 名	

●各様式を確認の上、書類（コピー）を順番にまとめ、本表を提出してください。

事 例 の タ イ ト ル	
（例：③認知症の科目の場合： 認知症の進行により本人の生活機能および、ケアマネジメントに悩む介護支援専門員からの相談を受けたが、改善 『 関係が悪化 列。）	

●提出する事例に○

●科目の内容に十分あることを再度確認ください

○ を 記入		科目
	② 脳血管疾	ケアマネジメント
	③ 認知症の	族等を支えるケアマネジメント
	④ 大腿骨頸	方のケアマネジメント
	⑤ 心疾患のある方のケアマネジメント	
	⑥ 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	
	⑦ 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	
	⑧ 家族への視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の ケアマネジメント	

介護支援専門員更新研修受講者（スーパーバイザー）のプロフィール

基本情報	法人名			
	事業所名		[例]〇〇居宅介護支援事業所	
	氏 名			
	資格等	ケアマネ取得時の基礎資格	[例]介護福祉士	
		その他の資格等	[例]初任者研修（ヘルパー1級）	
1	地域の特性		[例]限界集落を有して……等地域の特徴的な部分	
2	施設・機関の特徴		[例]同一法人で複数の事業を有しており……等その事業所の特徴	
3	受講者の職名 施設・機関内での役割・機能		〇〇課長等	
4	介護支援専門員としての経験（所属・年数）		ケアマネ〇〇年、グループホームケアマネ〇〇年等	
5	地域ケア会議他地域の会議への参加状況		会議への参加がない方は「参加なし」とご記入ください。	

み
ほ
ん

み
ほ
ん

事例を担当した介護支援専門員（スーパーバイザー）の情報

性別		年代	歳代	経験年数	約	年位
法人等（いずれかに○）			法人内同事業所・法人内他事業所・他法人等			
事業所名所在地（いずれかに○）			同市同生活圏域・同市他生活圏域・他市・その他			
種別			地域包括支援センター ・ 居宅介護支援事業所 地域密着型サービス（ 施設関係（ その他（			
基礎資格〈例：介護福祉士等の資格名記入〉						

み
ほ
ん

* 事例を担当された介護支援専門員の方には、スーパービジョン事例の提出について同意を得ていますか？

（ 同意を得ている ・ 同意を得ていない ）

み
ほ
ん

＊自分自身が担当した事例での作成ではありません。バイジーへのスーパービジョン事例です。

所属		氏名	
[事例を担当する介護支援専門員（バイジー）からの相談を受けるに至った経過及び相談内容]			
相談を受けた時期		年	月
スーパービジョン終結事例 ・ 現在継続中の事例 ・ その他（ ）			
1. 事例概要（各領域ごとに事例概要を作成する）			
[主訴]		[生活歴]	
バイジーの主訴ではなく事例の利用者、家族の主訴です			
[病歴・内服]		[家族状況]	
[事例概要]			
相談を受けた時に、スーパーバイザーとしてこの事例の論点をどのように考えましたか？			

(科目名：

)

2. 主任ケアマネとしてスーパービジョンの振り返り

1) スーパービジョンを展開する中で、担当する介護支援専門員にどのような情報を確認しましたか？

2) 上記の情報が必要と思われた根拠は？

3) この事例のスーパービジョンの展開を振り返ったとき、どのような視点が有効だったか？

み
ほ
ん

3. 地域におけるスーパービジョンについて（科目にこだわらず、相談を受けてスーパービジョンを行った時のことです。例えば、複数例ない場合は、2事例とも同じものを記入してください。）

1) 地域の介護支援専門員さんから相談を受けて、スーパービジョンがうまくいった点

2) 地域の介護支援専門員さんから相談を受けて、スーパービジョンがうまくいかなかった点

科目にこだわらず、相談を受けてスーパービジョンを行った時のことです。

4. 今回の講義・演習（科目名：

）でスーパービジョンの展開で学びたいこと

選んだ事例の科目を記入してください

○提出事例に関するスーパービジョンの経過（プロセスレコード）を作成してください。

科目名 選んだ科目名を記入（例：脳血管疾患のある方のケアマネジメント）

氏名 介護 太郎

① 起きたこと（事象、できごと）		②その時、担当ケアマネが 感じていた支援課題と その対応・働きかけ	③利用者本人、その家族や地域住民、 担当ケアマネに対して行われた 主任介護支援専門員としての関わり	④主任介護支援専門員としての考 察 （スーパービジョンの視点）
日付	事例で起こったこと			
	① 事例の中で、利用者本人を中心として記憶に残っていたり、引っ掛かりがあったり、重要な場面だと思われた事象を選択して時系列に記入してください。 <u>本人・ご家族の会話等は逐語録で記入してもわかりやすくなります。</u> <u>また、場の情景やその時の対象者の表情なども記入していきましょう。</u>	② ①で起こったことに対して、担当しているケアマネの視点や感じていたこと、対応、働きかけを記入しましょう	③ 事例や②の担当ケアマネに対して行われた主任介護支援専門員としての関わり（助言や行動）を具体的に記入しましょう（①②に沿って記入）	④ ③の事例や担当ケアマネへの関わりや指導について、主任介護支援専門員としての考えやそう考えた背景、視点、根拠等を記入しましょう。（①②③に沿って記入）

※ プロセスレコードは経過に応じ一定量は必要です（少なくとも3枚目以上 3枚目8割以上）